

“手を携え、未来を描く”

牟雄兵

中国国家発展と改革委員会国際協力センター二部責任者

2017年12月24日

一

- 『一帯一路』成果が豊か

二

- 『一帯一路』構想が巨大な市場需要を刺激する

三

- 第三国市場協力は中日両国協力の新たな特徴

四

- 中国の他の先進国との第三国市場協力の試み

五

- 『一帯一路』が中日企業に新たなビジネスチャンスを作る

一、『一带一路』成果が豊か



『一带一路』
国際協力
サミット
フォーラム
ハイレベル
全体会議

『一带一路』国際協力サミットフォーラム開幕式

二、『一帯一路』構想が巨大な市場需要を刺激する

沿線諸国の
人口は46億
人に達し、
世界総人口の
64%以上を
占める

沿線諸国の
GDPは22万億
ドルに達し、
世界総額の
30%以上を
占める

SDBの推測によ
ると、2016年か
ら2030年まで、
アジアインフラ
建設資金が年平
均1.7万億ドル
に達する

三、第三国市場協力は中日両国協力の新たな特徴

2017年11月
中国・北京
日本経済団体の訪中



2017年12月
日本・東京
日中企業家および元政府高官対話



四、中国の他の先進国との第三国市場協力の試み

- ◆ **中国とフランス** は先進国の先端技術や設備を使用する同時に、発展途上国に向けて、現場で生産する。また、金融機関と融資協力し、世界諸国へ品が良くて値段が安い省エネ環境保護の設備、キャパシティーおよび保障のある金融サービスを提供する
- ◆ **中国とドイツ** は『メイドインチャイナ2025』とドイツの『工業4.0』を戦略的にドッキングし、ドイツの先端技術を中国のコストパフォーマンスが良くて競争力のある設備産業と結び、共同で第三国市場を開拓する。

五、『一帯一路』が中日企業に新たなビジネスチャンスを作る



ありがとうございます

中国国国家発展と改革委員会国際協力センター